

# 利水改善グループ「営農情報」第2号

令和2年3月27日

発行：群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会

編集：群馬用土地改良区



## 利水改善G発表者を訪ねて 群馬用水でイチゴ栽培 渋川市中郷の池田さん

今号では、第39回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会（平成24年2月8日、群馬県JAビル）で、「促成イチゴとコンニャクの複合経営」と題して発表された、渋川市中郷の池田一美さんを紹介します。

### イチゴとコンニャクの複合経営を確立

池田さんは、昭和52年に群馬用土地改良区の留学研修制度により、愛知県で施設トマトについて学び、翌年就農されてトマト長期栽培を始めました。昭和56年にトマトからイチゴに切り替え、現在はコンニャクとの複合経営となり、イチゴは1,300㎡の施設で、促成栽培（写真上）に取り組んでいます。

訪問した日は、池田夫妻が丁度イチゴの出荷作業中（写真右下）で、収穫したイチゴの選別や箱詰め作業を行っていました。

### イチゴ栽培に群馬用水を有効活用

イチゴ施設は、7月に土壤還元消毒を実施しており、その時群馬用水を利用して土壤が湛水状態になるまでかん水しています。また、かん水には工夫をしており、特に水温の低い冬期間は地温の低下を防ぐため、午前中に少量かん水を行っています。消費者に安心・安全なイチゴを提供するため導入した特別栽培も軌道に乗り、安定した複合経営を目指し頑張っています。



## あ い さ つ

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会

会 長 坂 本 忠



当協議会の運営につきましては、日頃から会員の皆さんに大変お世話になっております。また、何かとお忙しい中ご指導ご協力いただいている県、市町村、水資源機構、JAをはじめとする関係各位に厚くお礼申し上げます。

この度、関係者の方々からのご協力により「営農情報」第2号を発行することができました。発刊に当たりご支援頂いた皆さんに厚くお礼申し上げます。

今年度も令和元年6月7日に開催した通常総会以降、多くの事業を開催することができました。群馬用水運営対策協議会と共催で、初めて調査研究会を開催することができました。また、群馬用水営農推進協議会と共催で開催した体験発表会等には、200人を超える出席者があり、大変盛大でした。

さて、県内でも新型コロナウィルス感染が確認されるなど、感染拡大の影響が大きくなっています。農業においても感染拡大により多方面に影響が出ており、早期の終息を祈るばかりです。

群馬用水は、昭和45年4月に水資源機構群馬用水管理所が、幹線水路管理開始から50周年を迎えました。群馬用水が完成したことにより、営農改善が飛躍的に進み、受益地域の農業振興に大きな役割を果たしました。

終わりに、本紙発行にあたり取材協力して頂いた皆さん、資料提供して頂いた関係者、編集にご尽力頂いた事務局の担当者の方々に厚くお礼申し上げます。

## 令和元年度通常総会を開催

## 規約改正で副会長を2人制に

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会の令和元年度通常総会は、令和元年6月7日（金）に群馬用水土地改良区大会議室で開催しました（写真右）。当日は役員及び関係者36人が出席し、提案された報告事項と第1号から第6号議案まで、全て原案どおり承認されました。

特に、今回は規約改正により従来1人だった副会長を2人に、3人だった監事を2人に改正しました。なお、令和元年度の役員名簿は表1のとおりです。また、今年度実施した事業は3頁の表2のとおりです。



表1 令和元年度 群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 役員名簿

役職名	氏 名	所属グループ	役職名	氏 名	所属グループ
会 長	坂 本 忠	JA前橋市粕川支所露地生産部会 グリーン21	委 員	大 竹 正	北橘花卉園芸組合
副会長	皆 川 孝	JA北群渋川ねぎ部会	委 員	小 林 祐伊知	北橘ネギ部会
副会長	高 橋 正 好	JAはぐくみねぎ部会	委 員	萩 原 勝 吉	赤城橘椎茸組合
委 員	小野里 伸 哉	芳賀花・植木園芸組合	委 員	奈 良 新 作	北橘雨よけハウレンソウ組合
委 員	狩 野 富 一	JA前橋市富士見支所園芸協議会	委 員	清 水 久 義	久留馬選果場梨部
委 員	小 池 勤	群馬用水上ノ原組合	委 員	島 方 当己夫	JAはぐくみみさと梅部会
委 員	小谷野 修	高源地果樹組合	委 員	岡 本 昭 夫	JAはぐくみ東部園芸出荷部会
委 員	飯 塚 永 一	JA北群渋川ねぎ部会 榛東村下仁田ネギ生産組合	監 事	森 田 幸 道	赤城橘ソ菜組合
委 員	南 博	榛東村園芸生産組合	監 事	池 田 一 美	子持園芸組合
委 員	岸 勝 吉	JA北群渋川にら部会	参 与	小和瀬 眞 一	JAはぐくみみさと梅部会
			顧 問	平 田 英 勝	群馬用水土地改良区（理事長）

表2 令和元年度 群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会 実施事業

期 日	事 業 名	場 所	人数等
令和元年 6月7日（金）	第48回群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会通常総会 ・ H30年度事業報告、収支決算について ・ R元年度事業計画、収支予算について ・ 規約改正、役員改選について	群馬用水土地改良区 2階会議室 (前橋市古市町)	36人
6月7日（金）	令和元年度群馬用水地域営農関係情報交換会 ・ 営農関係情報提供数 7課題	群馬用水土地改良区 2階会議室	36人
8月19日（月）	令和元年度群馬用水地域露地ナス立毛共励会 ・ 管内栽培ほ場 9ヶ所	群馬用水土地改良区 管内ナス栽培ほ場	出品点数 9点
9月26日（木）	令和元年度群馬用水地域営農関係調査研究会 ・ 情報通信技術 (ICT) を活用した次世代型園芸施設「ぐんまイノベーションファーム」 ・ 鳥獣被害の現状と対策	群馬県立農林大学校 群馬県鳥獣被害対策支援センター (高崎市箕郷町)	29人
11月28日（木）	令和元年度利水改善グループ視察研修会 (茨城県東茨城郡茨城町、つくばみらい市) ・ 農産物直売所とbuffet型レストラン ・ スマート農業と野菜用農業機械	ポケットファームどきどき (JA全農いばらき) 夢ある農業総合研究所 (井関農機KK)	39人
12月5日（木）	令和元年度群馬用水地域秋冬ネギ共励会 ・ 管内栽培ほ場 9ヶ所	群馬用水土地改良区 管内ネギ栽培ほ場	出品点数 9点
令和2年 2月4日（火）	第47回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会、令和元年度各種表彰式、記念講演会 ・ 発表者2名(木村学氏、栗田陽介氏)	群馬建設会館 2階ホール (前橋市元総社町)	202人
3月27日（金）	利水改善グループ「営農情報」第2号発行	会員、関係者等に配布	—

## 営農関係情報交換会を開催

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会主催の「令和元年度群馬用水地域営農関係情報交換会」を令和元年6月7日、通常総会に引き続き群馬用水土地改良区で開催しました。当日は役員及び関係者36人が出席し、管内指導機関から提供された7課題について情報交換しました。

今回提供された情報は次の7課題です。①「ホウレンソウの太陽熱消毒による除草効果の確認」②「渋川地区イチゴ立毛共進会の開催」③渋川管内におけるパプリカ生産の概要④ナシほ場の下草管理状況によるハダニ類と天敵発生状況調査⑤キルパーかん水チューブ処理法によるトマト古株枯死とネコブセンチュウ抑制効果の確認⑥「農業技術センター園芸部野菜類の技術開発研究」⑦「JA全農ぐんま園芸作物生産実証農場の取り組みについて」



[写真上] 群馬用水地域営農関係情報交換会で、提供課題について説明する管内指導機関の担当者と熱心に聞く出席者



## 営農関係調査研究会を開催

# ICT園芸施設や鳥獣害対策について調査

## 「群馬県立農林大学校」と「群馬県鳥獣被害対策支援センター」を訪問

群馬用水運営対策協議会（平田英勝会長）並びに群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会の共催で「令和元年度群馬用水地域営農関係調査研究会」を令和元年9月26日（木）に高崎市箕郷町西明屋で開催しました。

当日は両組織の会員及び関係者29人が参加し、群馬県立農林大学校（篠原信行校長）校内に整備された情報通信技術（ICT）を活用した次世代型園芸施設「ぐんまイノベーションファーム」と同校研修館内に設置されている群馬県鳥獣被害対策支援センターで、鳥獣被害の現状と対策について調査しました。

最初訪問した「ぐんまイノベーションファーム」では、群馬県立農林大学校農業経営学科野菜コースの中條博也コース長から全体の概要について説明を受け、続いて中核となる最新鋭の温室（写真右上）を案内して頂きました。

この温室は、温度や湿度、日照などを自動制御でき、県の重点品目であるキュウリとイチゴを試験栽培します。事業費は2億6千万円で、内閣府の地方創生（拠点整備）交付金を利用して整備されました。「複合環境制御装置」によってリアルタイムで管理でき、タブレット端末による遠隔操作も可能とのことでした。

温室の中では、現在栽培されているキュウリ（写真右中）と近々定植予定のイチゴの高設栽培について説明して頂きました。

また、バラを中心とする花きについて、同校農業経営学科花き・果樹コースの小林智彦准教授に説明して頂きました。

続いて、同校研修館内に設置されている群馬県鳥獣被害対策支援センターを訪問しました。

同センターは、野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため平成22年度に設置され、県内全域を対象に、野生鳥獣を「捕る」対策、野生鳥獣から「守る」対策、野生動物を「知る」対策を組み合わせ、関係機関と連携して被害対策に取り組んでいます。

当日は、「群馬県における野生鳥獣による農林業被害の現状とその対策について」と題して、同センターの中里見信章所長に講義をして頂きました（写真右下）。

今回開催した調査研究会を通じて、多くの参加者から「大変参考になった。」との声が聞かれました。



## 野生動物の被害対策について

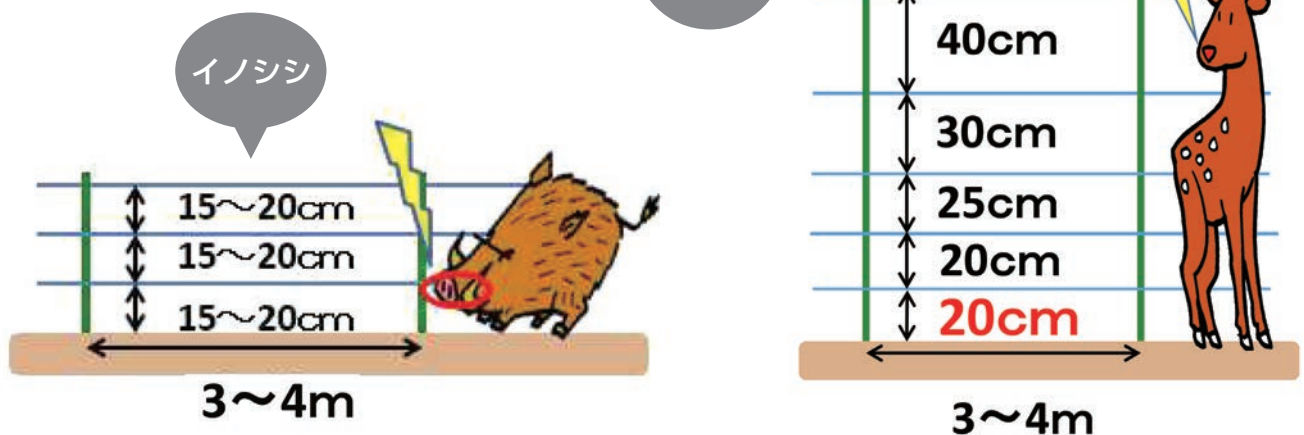
野生動物による農作物被害は、群馬用水管内においても依然多く、大きな問題になっています。

当連協でも9月26日に、群馬用水運営対策協議会と共催で、群馬県鳥獣被害対策支援センターを訪問し、「鳥獣被害の現状と対策について」調査を行いました。

今回同センターから提供された資料の一部を紹介します。

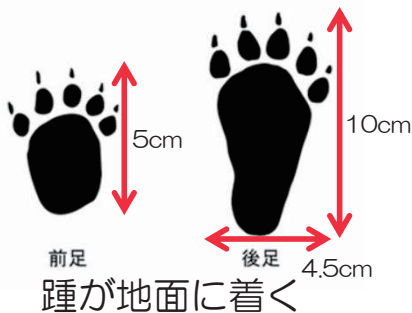
イノシシとシカ用電気柵の設置方法については図1を、ハクビシンと紛らわしい動物の見分け方については図2をそれぞれ参考にしてください。

**図1 電気柵の設置方法**  
(獣種に応じた段数と高さ)

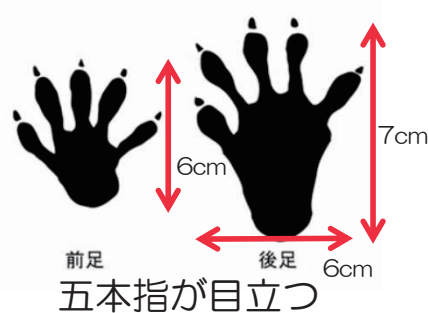


**図2 ハクビシンと紛らわしい動物（足跡で種類を見分ける）**

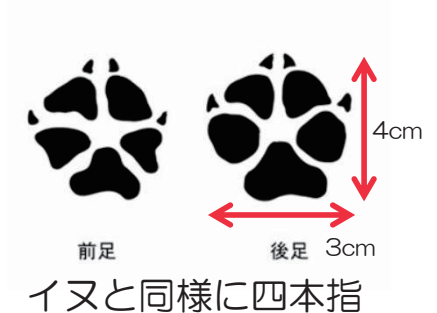
### ・ハクビシン



### ・アライグマ



### ・タヌキ



### ・アナグマ



### ・ネコ



### ・イヌ





## JA全農ぐんま園芸作物生産実証農場の取り組み

JA全農ぐんまでは、①県内主力園芸作物であるキュウリの産地基盤の再構築、②産地での普及に向けた新技術・新資材等の栽培実証、③農場での実践研修による担い手育成支援やJA担当者等の人材育成を目的として平成28年11月に園芸作物生産実証農場を設置しました。今回は実証農場での取り組みについて紹介します。

### 【施設園芸の高品質・高収量化技術の実証】

○複合環境制御システムによる個別技術を組み合わせたキュウリの高収量・省力栽培実証  
(群馬の気候に適した施設環境制御技術の確立)

⇒令和元年産キュウリ出荷実績：促成 28.5 t / 10a + 抑制 12.9 t / 10a = **41.5 t / 10a**



### 【施設園芸における生産基盤実証】

(パイプハウスでの様々な栽培実証)

○ハウスの無加温長期取り実証

- ・天敵などを活用したIPM総合防除
- ・高温対策（屋根散水技術など）

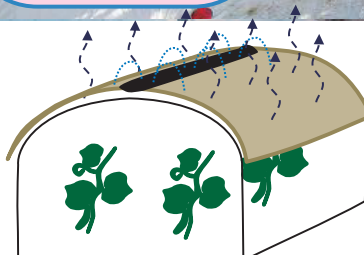
○トトロ箱養液栽培システム（簡易養液システム）「ういずOne」

を活用したミニトマト栽培実証

- ・土壌病害対策
- ・水稻育苗ハウスなどの年間活用

○栽培技術および品種適応実証（作型、整枝法、品種等）

- ・新たな品種・品目、栽培方法などを実証



ビニールハウスの屋根散水による夏期昇温抑制

遮光ネットに散水チューブで散水して、氧化熱で施設内温度を下げる。



### 【JGAP認証に向けた取り組み】

令和元年度中のJGAP認証取得に向け、各種書類の作成・現地整備・パート職員への説明会などを実施。模擬審査と本審査を経て、令和2年3月5日付けでJGAP認証登録されました。

今後は、GAPの取り組みによって期待される「経営改善」や「販売力強化」といった効果を実証することが目標です。また、県内JAやGAP導入を目指す農家に今回の経験や知識を広く普及し、GAPの勉強の場として有効活用していきたい。



認証登録証明書



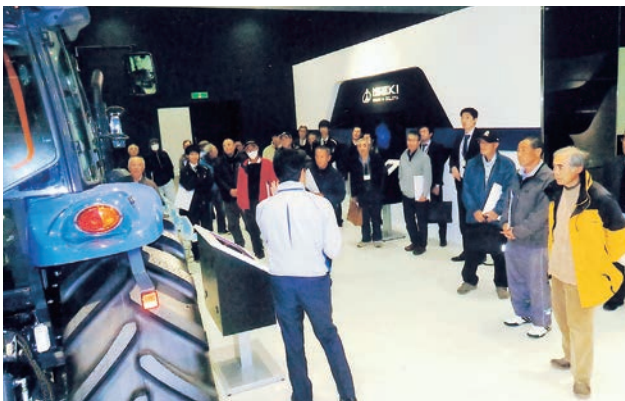
## 利水改善グループ視察研修会を開催

# 農産物直売所やスマート農業について学ぶ

## 「ポケットファームどきどき」と「夢ある農業総合研究所」で研修

群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会主催による「令和元年度群馬用水地域利水改善グループ視察研修会」を、令和元年11月28日（木）に開催しました。

当日は当連協会員及び関係者39人が参加し、大型バスで、茨城県東茨城郡茨城町下土師にある「ポケットファームどきどき（JA全農いばらき）」と同県つくばみらい市青木にある「夢ある農業総合研究所（井関農機KK）」の2ヶ所で研修しました。



最初の研修場所「ポケットファームどきどき」は、農産物直売所とbuffet型スタイルで人気のある森の家庭レストランについて研修しました（写真上）。

2番目の研修場所「夢ある農業総合研究所」は、新時代の農業に対応するため、先端営農技術の研究、実証、普及を行う施設として設立された研究所で、最近注目されているスマート農業や野菜用農業機械について研修しました（写真左）。

参加者からは「大変有意義な研修だった。」との感想が多く寄せられました。



## 体験発表会、各種表彰式、記念講演会盛大に開催



群馬用水地域利水改善グループ連絡協議会及び群馬用水営農推進協議会が主催し、群馬用水土地改良区が協賛して、「第47回群馬用水地域利水改善グループ体験発表会、令和元年度各種表彰式及び記念講演会」が令和2年2月4日（火）群馬建設会館2階ホールにおいて、会員や関係者202人が出席して盛大に開催されました（写真左上、左下）。

体験発表会は、前橋市粕川町の木村学さんが「露地ナスを中心とした露地野菜経営」、北群馬郡吉岡町の栗田陽介さんが「群馬用水利用による施設・露地の多品目栽培」と題してそれぞれ発表されました。内容も充実していて、出席された方々からも高い評価がありました。

各種表彰式では、最初に優良農家の表彰があり、表1のとおり3人が受賞されました。続いて露地ナス立毛共励会と秋冬ネギ共励会の表彰があり、表2のとおり入賞者18人が受賞されました。また、優良農家3人と各共励会の最優秀受賞者2人には、理事長賞も授与されました。

記念講演会は、前橋地方気象台の気象情報官中村理恵氏を講師に迎え、「気候変動と農業に役立つ気象（気候）情報の利用」と題してお願いし、近年多発している気象災害対策など大変有意義な講演でした。

表1 令和元年度表彰事業（優良農家）受賞者名簿  
（敬称略）

氏 名	住 所	主 要 品 目
高 橋 猛 志	前橋市粕川町	ネギ、ブロッコリー
武 藤 慶 一	北群馬郡吉岡町	チンゲンサイ
島 方 当 己 夫	高崎市箕郷町	ウメ、ネギ

表2 令和元年度表彰事業（共励会）受賞者名簿  
（敬称略）

共励会名	夏秋ナス立毛共励会		秋冬ネギ共励会	
表 彰 名	氏 名	市町村	氏 名	市町村
最優秀賞	高 瀬 一 嘉	前橋市	生 方 忠 義	高崎市
優 秀 賞	中 澤 潤	前橋市	青 木 義 二	渋川市
	浅 見 弘 子	榛東村	狩 野 幹 夫	渋川市
優 良 賞 （五十音順）	阿久津 千秋	高崎市	樺 沢 正 雄	前橋市
	天 沼 勝	桐生市	原 澤 義 徳	吉岡町
	石 原 勝 雄	前橋市	松 村 一 雄	渋川市
	梶 澤 芳 文	前橋市	茂 木 伸 哉	前橋市
	グリーンファーム赤城たちばな	渋川市	横 堀 晃 治	前橋市
	降 旗 敏 雄	前橋市	吉 田 勝 志	前橋市

### あ と が き

会員の皆さんには、日頃から利水改善グループの活動についてご協力頂き、誠に有り難うございます。お陰様で、今年度実施した事業はどれも盛大で、特に、恒例の体験発表会、各種表彰式、記念講演会には200人を超える出席者があり、2人の発表内容も大変好評でした。

群馬用水は、昭和45年4月に水資源機構群馬用水管理理所が基幹施設の管理を開始してから50周年の節目を迎えました。群馬用水は「夢の農業用水」としてつくられ、受益地域の農業発展に大きな役割を果たしてきました。

今号では、実施事業の紹介と共に、関係機関の協力を得て2課題の情報を掲載しました。

これからも紙面の充実に努めたいと思いますので、皆様のご意見をお聞かせください。

（事務局 町田）